

# 「第25回母乳育児シンポジウム」新潟開催のご案内

実行委員長 永山 善久(小) 新潟市民病院 総合周産期母子医療センター長  
副実行委員長 沼田 修 (小) 長岡赤十字病院 総合周産期母子医療センター長  
長谷川 功 (産) 済生会新潟第二病院 産婦人科部長

## 「トキめき母乳育児」

東日本大震災からの復興と福島原発事故の終息を皆様とともに強く祈念いたします。

熊本地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。

そして被災された方々のご無事と一日も早い復旧を皆様とともに祈念いたします。

第25回母乳育児シンポジウムを世界母乳週間に合わせ、平成28年7月30日(土)、31日(日)に新潟市中央区万代島の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにおいて開催します。今回のシンポジウムのメインテーマは、「トキめき母乳育児」です。多くの人たちの支援により人工飼育から自然繁殖へ移行することが可能になった朱鷺のように、母乳育児にもやさしい支援がそそがれるように、また、「こころときめく」母乳育児をひとりでも多くの人に届けられるようにと願いを込めました。各地の母乳育児支援に携わっておられる皆さんに是非新潟に集まっていただき、母乳育児支援をより一層広げて行くために一緒に考えたいと思っています。

今回の「母乳育児シンポジウム」はシンポジウム2つを中心に一般演題、ワークショップ、特別講演で構成されています。

「赤ちゃんにやさしい病院(Baby Friendly Hospital)」認定式は、お母さんと赤ちゃんが安心して母乳育児を相談できる医療機関として認定された施設の栄えある発表であるとともに、各々の施設にとってはBFHとして責任ある母乳育児支援の運動を新たにスタートさせる記念すべきセレモニーになります。

特別講演「からだの時計は今何時? 一母と子の時間と遺伝子の物語」では京都大学の岡村均先生より時計遺伝子の基礎から最先端の研究まで、育児行動に絡めて分かりやすくお話していただきます。

シンポジウムⅠ「母乳育児支援のやさしさを考える ー「赤ちゃんにやさしい」と「お母さんにやさしい」は相反するの?ー」では、母乳育児支援の基本となる「やさしさ」とは何かをそれぞれの実践を通して考えてみたいと思います。

シンポジウムⅡ「母乳育児支援のやさしさが社会を変えていく」では、出生前のプレネイタルビジット、2週間健診、行政の関わりの中で母乳育児支援を社会に広げていくことの重要性を産科医、小児科医、行政の立場からお話をさせていただく予定です。また、支援するスタッフのモチベーションの維持についても触れてみます。

ワークショップ「それぞれの母子に合わせた母乳育児支援」では、母乳育児が難しい状況にあってもそれぞれの状況に合わせて工夫・支援している実例を、「母子分離」や「災害時」の支援、母の合併症、赤ちゃんの口蓋裂についてお話していただく予定です。

特別企画「新潟からの発信」では、新潟大学シッター制度の紹介や、実行委員会で行った母乳育児支援のアンケート調査を中心に、新潟独自の取り組みや課題について報告し、今後への提言をしていきます。

実行委員会では「やさしさとは何か」をめぐって、何回も何回も熱い議論がかわされました。きわめて現代的なテーマである「やさしさ」を考えることは、母子・家族をとりまく様々な社会現象、そして母子支援の根源を考える機会となることでしょう。シンポジウムで皆さんと一緒に考えたいと思っています。

1 昨年、シンポジウムが開催された熊本で大地震が起こりました。東日本大震災での教訓は日常の母乳育児が最大の防災であることと改めて認識されたことです。1人でも多くの母子が母乳育児ができるように、このシンポジウムでも、母乳育児の重要性を訴えていきましょう。

シンポジウムの時期は盛夏の真只中ですが、熱い新潟に全国各地からお集まりいただき、母乳育児についての熱い思いを参加された皆さんと共有したいと思っています。実行委員一同、新潟で皆様とお会い出来ることを心待ちにしております。

\*本シンポジウムは日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本周産期・新生児医学会、日本助産師会の研修会として認定されており、研修シールが発行されます

<世界母乳週間 世界母乳の日> 2016年7月30日(土) 31日(日)

## 第25回母乳育児シンポジウム

### 「トキめき母乳育児」

主催：一般社団法人日本母乳の会

後援：ユニセフ 厚生労働省(予) 日本産科婦人科学会(予) 日本小児科学会 日本小児科医会 日本周産期・新生児医学会  
日本新生児育成医学会 日本助産師会 日本看護協会 新潟県産婦人科医会 新潟市産婦人科医会 新潟県小児科医  
会 新潟市小児科医会 新潟県助産師会 新潟市助産師会 新潟県看護協会 新潟県 新潟市

#### タイムテーブル

7月30日(土)		7月31日(日)	
9:00 ~ 9:30	開会・挨拶	8:45 ~ 9:30	一般演題(2)
9:30 ~ 11:15	一般演題(1)	9:30 ~ 11:30	シンポジウムⅡ：「母乳育児支援のやさしさが社会を変えていく」
11:15 ~ 11:30	2016年BFH認定式	11:30 ~ 12:15	ポスター質疑応答
11:30 ~ 11:50	BFNICU アンケート調査報告	12:15 ~ 13:15	昼食
11:50 ~ 12:50	昼食	13:15 ~ 13:55	実行委員会企画 新潟県分娩施設アンケート調査
12:50 ~ 13:05	BFH72施設(2015)母乳育児データ	13:55 ~ 16:00	特別企画 新潟からの発信 ・新潟大学シッター制度の育児力支援 ・地域における子育てサークル ・行政との連携・新潟県、 ・新潟市「赤ちゃんにやさしい育児支援協議会」発足 ・新潟宣言
13:05 ~ 14:05	特別講演「からだの時計は今何時? 一母と子の時間と遺伝子の物語」		
14:05 ~ 16:10	シンポジウムⅠ： 「母乳育児支援のやさしさを考える」		
16:10 ~ 16:25	休憩		
16:25 ~ 17:50	ワークショップ： それぞれの母子に合わせた母乳育児支援		
17:50 ~ 18:05	社員報告会	16:00 ~ 16:15	閉会・挨拶
18:30 ~ 20:30	懇親会		

#### 7月30日(土)

総合司会：高島 葉子(助・新潟県立看護大学/上越市)  
和田 雅樹(小・魚沼基幹病院/南魚沼市)

9:00 ~ 9:30 挨拶

開会挨拶：永山 善久 第25回母乳育児シンポジウム実行委員長 新潟市民病院

挨拶：中野 隆 日本母乳の会 代表理事

：泉田 裕彦 新潟県知事

：篠田 昭 新潟市長

メッセージ：厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課(予定)

9:30 ~ 11:15

一般演題(1)

11:15 ~ 11:30

2016年「赤ちゃんにやさしい病院」認定証授与式

挨拶・認定証授与：平林 国彦(ユニセフ東京事務所 所長)

11:30 ~ 11:50

報告①：BFNICU アンケート調査報告

畠山 知子 日本母乳の会 BFNICU ワーキングチーム(ベルランド総合病院)

<11:50~12:50 昼食・休憩>

12:50~13:05

報告②：BFH72施設・2015年母乳育児データ

西巻 滋 日本母乳の会 データ管理委員会(横浜市立大学附属病院)

13:05~14:05

### 特別講演「からだの時計は今、何時？ —母と子の時間と遺伝子の物語—」

時計遺伝子の基礎から最先端の研究のお話と、育児行動と体内時計の関係を分かりやすくお話いただきます。

講師：岡村 均 京都大学大学院薬学研究科医薬創成情報科学講座システムバイオロジー分野教授

司会：永山 善久 新潟市民病院/新潟市

14:05~16:10 シンポジウムⅠ

### 「母乳育児支援のやさしさを考える」

～「赤ちゃんにやさしい」と「お母さんにやさしい」は相反するの？～

司会：風間 芳樹（産・魚沼基幹病院/南魚沼市）

水島 香苗（助・あわの産婦人科医院/富山県入善町）

#### 1) 基調講演：母乳権、そしてやさしさをどう考える

母子にやさしい支援をもう一度考えてみます。「母乳権」は基本的な人権です。

永山 善久（小・新潟市民病院/新潟市）

#### 2) 妊娠中からの支援がやさしさに繋がる

母の自主性を引き出す支援について考えてみます。

坂井 加代子（助・済生会新潟第二病院/新潟市）

#### 3) 分娩の安全性とやさしさ

分娩の安全性確保と医療介入をやさしい支援の観点から考えてみます。

佐藤 文彦（産・山形市立病院済生館/山形市）

#### 4) 早期母子接触(STS)、母子同室、頻回授乳を支えるやさしさ

出産後の母子に寄り添い、育てる力、育つ力を引き出す支援の重要性を考えてみます。

大谷 ゆかり（助・舞鶴共済病院/舞鶴市）

#### 5) 赤ちゃんにやさしい補足、お母さんにやさしい補足

医学的評価に基づく補足を通して、母子の安全をまもるやさしさを考えてみます。

長屋 建（小・旭川医科大学附属病院/旭川市）

<16:10 ~16:25 休憩 >

16:25 ~ 17:50 ワークショップ

### 「それぞれの母子に合わせた母乳育児支援」

どのような状況でも、母乳育児のできる喜びを一人でも多くの母子に届けるために、それぞれに工夫・支援している実例から母乳育児支援のやさしさを考えてみます。

司会：石田 道雄（産・佐渡総合病院/佐渡市）

山木勢津子（助・都立大塚病院/東京都）

#### 1) 口蓋裂を有する児の母乳育児支援

Holz 床を使用した早期からの母乳育児支援 言語療法士の早期介入とこころのケアの実際を話してもらいます。

高木 律男（歯・新潟大学医歯学総合病院/新潟市）

#### 2) NICU での母乳育児・母子支援

母子分離を余儀なくされた時にも母乳育児を支えることの重要性和問題点、特に院外出生児について考えてみます。

益野 元紀（小・国立病院機構三重中央医療センター/津市）

#### 3) 特別な治療を受けている母親への母乳育児支援

リウマチを合併している母親への母乳育児支援を考えます。

五十川 梓（助・国立病院機構大阪南医療センター/河内長野市）

#### 4) 震災と母乳育児支援

災害時こそ母乳育児、東日本大震災の経験から得たものについて話していただきます。

渡邊 佐登美（助・坂総合病院/塩釜市）

17:50 ~ 18:05 日本母乳の会 社員報告会

18:30 ~ 20:30 懇親会 新潟グランドホテル（移動はウォーターシャトル）

総合司会：倉辻 言 (小・新潟県立中央病院/上越市)  
三留 節子 (助・新潟大学医歯学総合病院/新潟市)

8:45~9:30 一般演題(2)

9:30~11:30 シンポジウムⅡ

### 母乳育児支援のやさしさが社会を変えていく

母乳育児支援を社会に広げていくことは、母乳育児支援のやさしさを社会に広げていくことになるかもしれません。

司会：饗場 智 (小・山形県立中央病院/山形市)  
中川 光子 (助・長岡福祉看護専門学校/長岡市)

#### 1) 小児科医が支える母乳育児 ～ブレネイタルビジット～

出産前からの両親が育児について一緒に考える事を小児科医は支えます。出産前から関わりの重要性を考えてみます。  
柳本 利夫 (小・やぎもと小児科/新潟市)

#### 2) スタッフのモチベーションも大事 ～職場満足度でみる意識の変化～

母乳育児支援をするスタッフにも自覚が芽生え、プロフェッショナルとしての喜びも感じることができます。しかし、ハイリスク妊娠が多い現場ではモチベーションの維持が大変になることもあります。

飯島 静子 (助・新潟市民病院/新潟市)

#### 3) 2週間健診で支える ～不安な時期を支える～

分娩施設を離れ、2週間目は不安が募る時期です。母乳育児の不安を2週間健診で支える重要性を考えてみます。

穂吉 眞之介 (小・愛媛県立中央病院/松山市)

#### 4) 2週間健診を行政が支える

2週間健診を支えるための仕組みが必要です。行政が初めて2週間健診に支援の手を差し伸べました。

谷口 武 (産・谷口病院/泉佐野市)

#### 5) 行政が支える母乳育児-全市をあげて母乳育児支援をすることにより、地域は変わります。実例から学びましょう。

山岸 圭子 (保・糸魚川市こども課/糸魚川市)

11:30~12:15 ポスター 質疑・応答

<12:15~13:15 昼食・休憩>

13:15~13:55

#### 実行委員会企画 新潟県における分娩施設の母乳育児支援状況～アンケート調査からみる新潟県の現状と課題～

司会：松永 雅道 (小・新発田病院/新発田市)  
中山 和美 (助・新潟医療福祉大学/新潟市)

新潟県の分娩47施設の母乳育児支援の実態を調査。回収率100%で実態が見え、現状と課題を皆さんと一緒に考えます。

小林 正子 (助・新潟青陵大学/新潟市)

長谷川 功 (産・済生会新潟第二病院/新潟市)

13:55~16:00

特別企画「新潟からの発信」実行委員会では改めて地元の事を多く知りました。新潟での独自の取り組みを紹介します。

司会：関塚 直人 (産・関塚医院/新発田市)  
小田 容子 (助・竹山病院/新潟市)

#### 1) 「新潟大学シッター制度の育児力支援」 ～国立大学における取り組み～

国立大学が行っている研究者のための育児支援は、若い世代の育児力を育てる効果もありました。

林 はるみ (助・新潟大学男女共同参画推進室/新潟市) 学生シッター (新潟大学)

#### 2) 地域における子育てサークルから「妊カフェ」「育カフェ」へ 地域に根ざした子育てサークルの活動から。

平山 沙知子 (保・新潟市親子の育ち合いルーム tete/新潟市)

#### 3) 行政との連携 行政との連携で、今、出来ていることを紹介します。

・新潟県における母子保健の状況 本間 暁 (新潟県福祉保健部健康対策課母子保健係/新潟市)

・新潟市 「赤ちゃんにやさしい育児支援に関する協議会」の発足

武藤 由美子 (新潟市保健所健康増進課母子歯科保健係/新潟市)

#### 4) 新潟からの宣言 シンポジウムを開催した成果を、新潟宣言として全国に発信します。

岡崎 実 (小・佐渡総合病院/佐渡市) 宣言実行委員会

16:00 ~ 16:15 挨拶

閉会挨拶：沼田 修 第25回母乳育児シンポジウム副実行委員長  
第26回母乳育児シンポジウム実行委員会